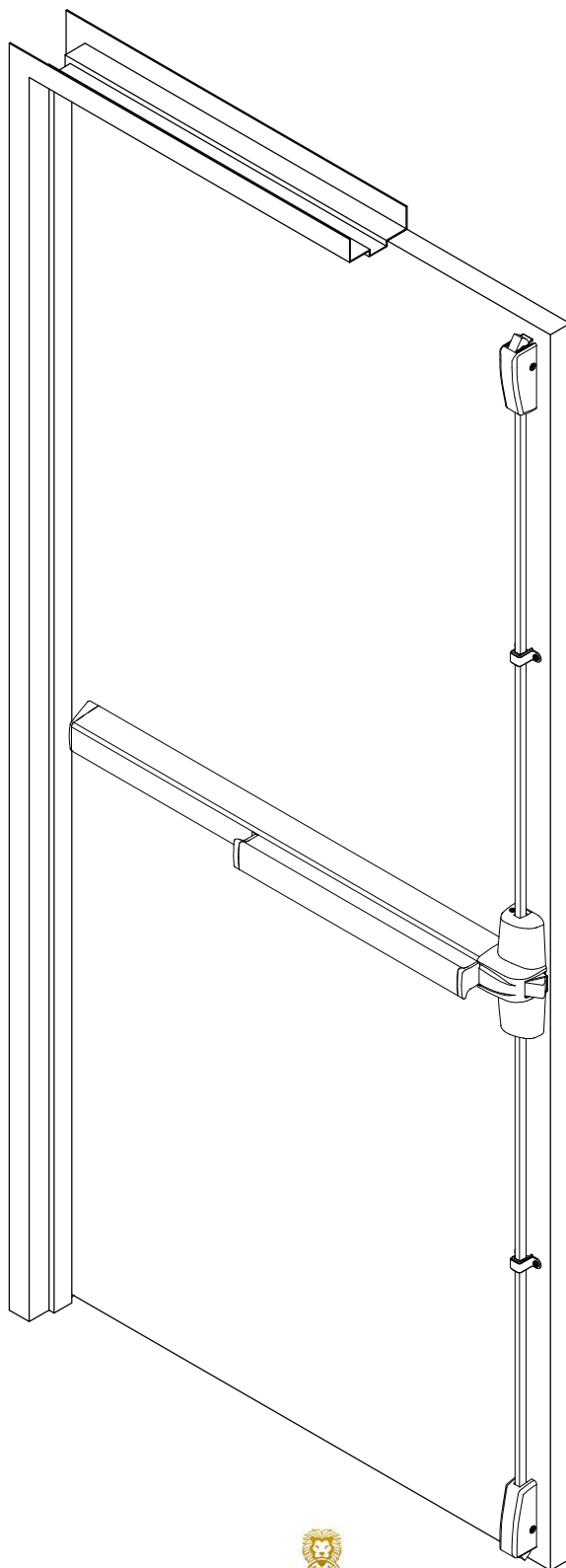


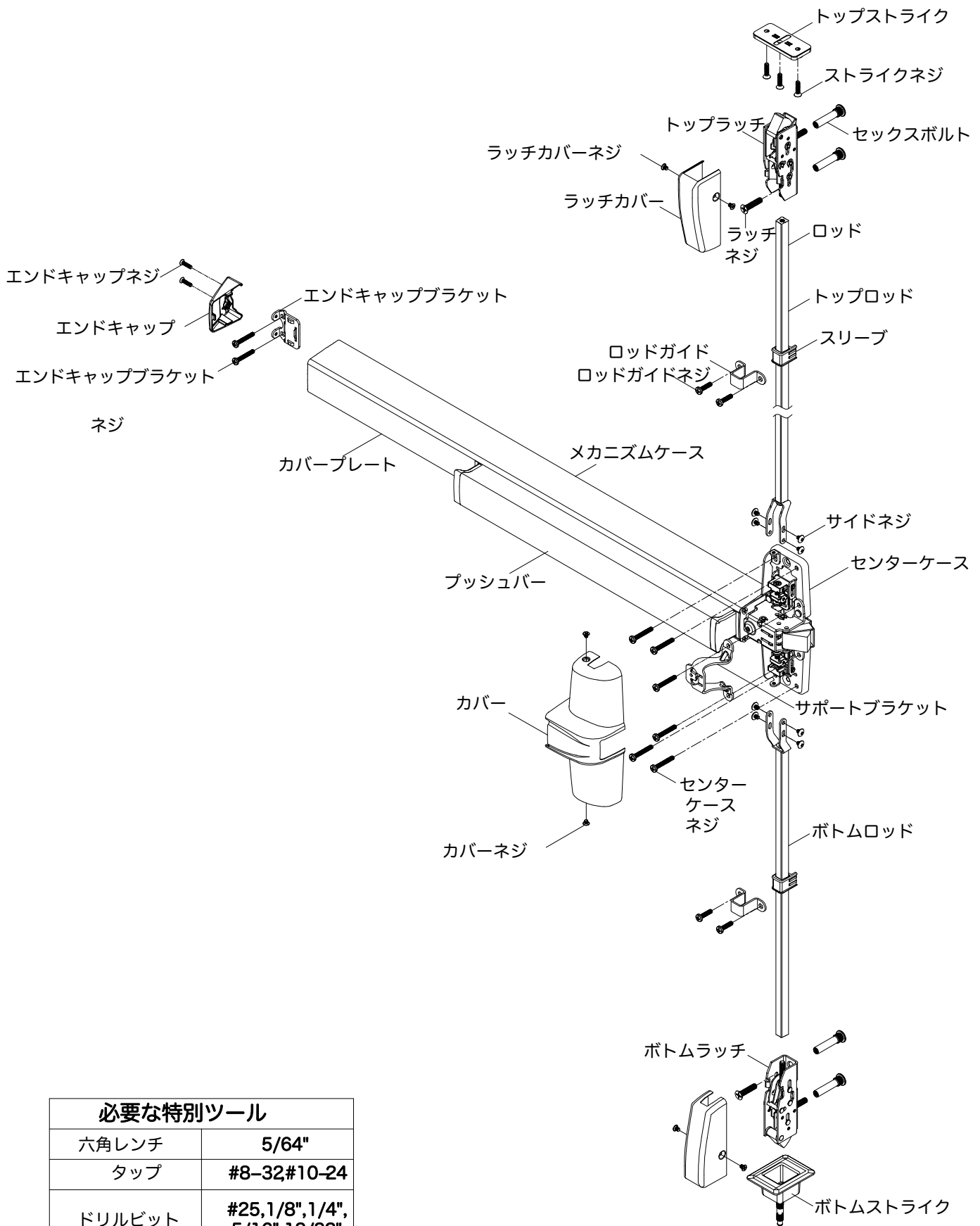
Klacci.[®]
life unlocked.

1500/F1500 パニックバー
3点ラッチ式

取付説明書

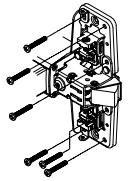
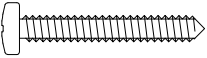
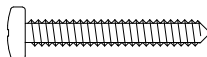
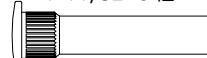
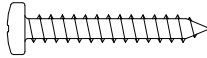
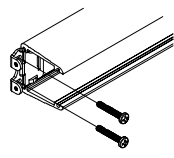
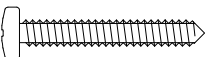
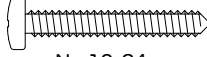
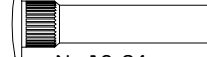
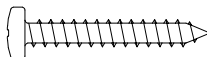
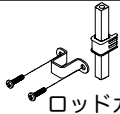
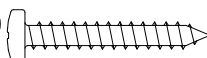
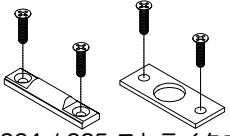
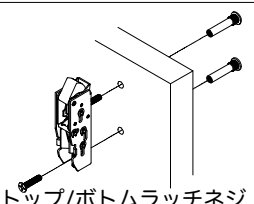
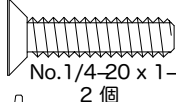
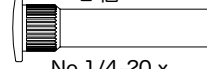
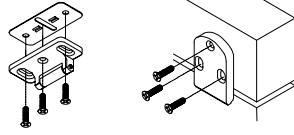
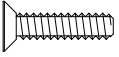
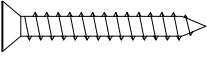
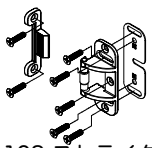
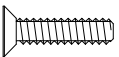
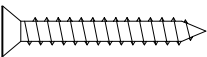
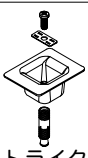
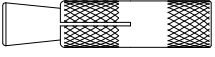
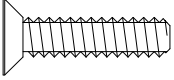
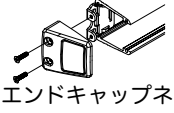


WD-OD002(481)

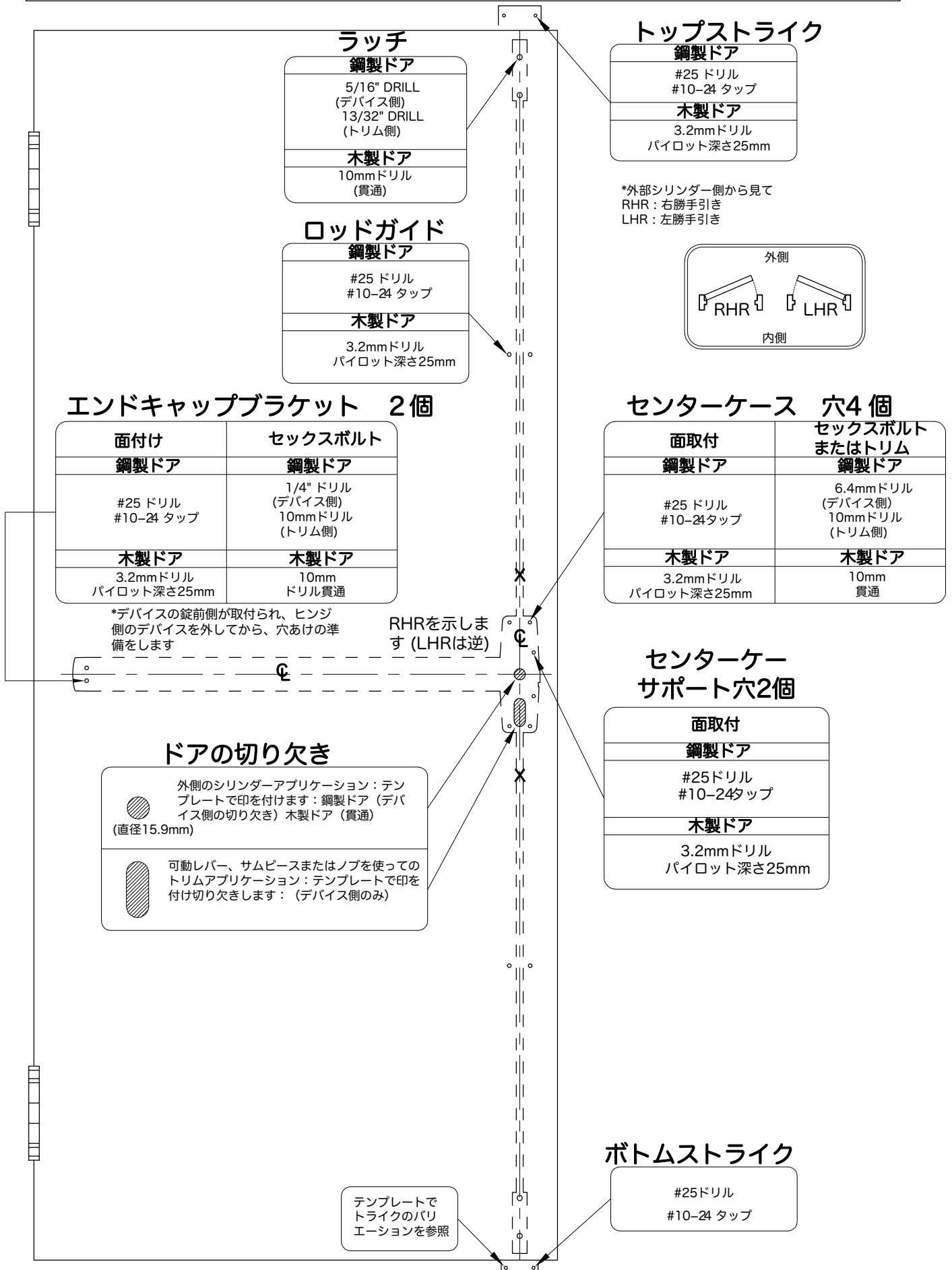


必要な特別ツール	
六角レンチ	5/64"
タップ	#8-32,#10-24
ドリルビット	#25,1/8",1/4", 5/16",13/32"
スPEEDドリル	5/8" (木製ドア)

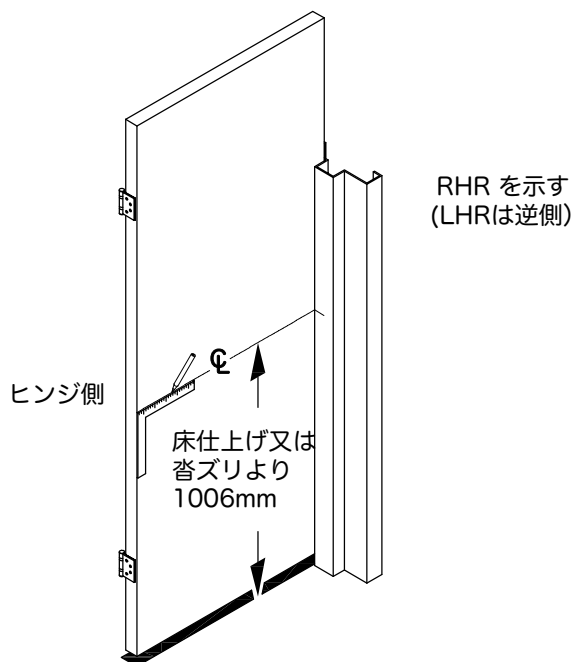
使用するネジ表

アプリケーション	鋼製ドア	セックスポート	木製ドア
 センターケースネジ	③  No.10-24 x 1-11/32" 6 個	③  No.10-24 x 1-11/32" 6 個 ⑦  No.10-24 x 1-3/32" 6 個	①  No.10-12 x 1-11/32" 6 個
 エンドキャップブラケットネジ	③  No.10-24 x 1-11/32" 2 個	③  No.10-24 x 1-11/32" 2 個 ⑦  No.10-24 x 1-3/32" 2 個	①  No.10-12 x 1-11/32" 2 個
 ロッドガイドネジ	④  No.10-24 x 25/32" 4 個		①  No.10-12 x 1-11/32" 4 個
 224 / 225 ストライクネジ	⑤  No.10-24 x 11/16" 2 個		
 トップ/ボトムラッチネジ		⑥  No.1/4-20 x 1-1/6" 2 個 ⑧  No.1/4-20 x 1-3/32" 4 個	
 106 / 215 ストライクネジ	⑤  No.10-24 x 11/16" 3 個		②  No.10-12 x 1-11/32" 3 個
 108 ストライクネジ	⑤  No.10-24 x 11/16" 7 個		②  No.10-12 x 1-11/32" 7 個
 227 ストライクネジ	⑨  No.1/4-20 x 5/8" 1 個	⑩  No.1/4-20 x 5/8" 1 個	
 サイドネジ&コネクティングネジ	⑥  No.1/4-20 x 1-1/6" 2 個	⑬  No.8-32 x 7/32" 8 個	
 エンドキャップネジ	⑪  No.8-32 x 5/8" 2 個		
 カバーネジ	⑬  No.8-32 x 5/32" 6 個		

ドアの準備表

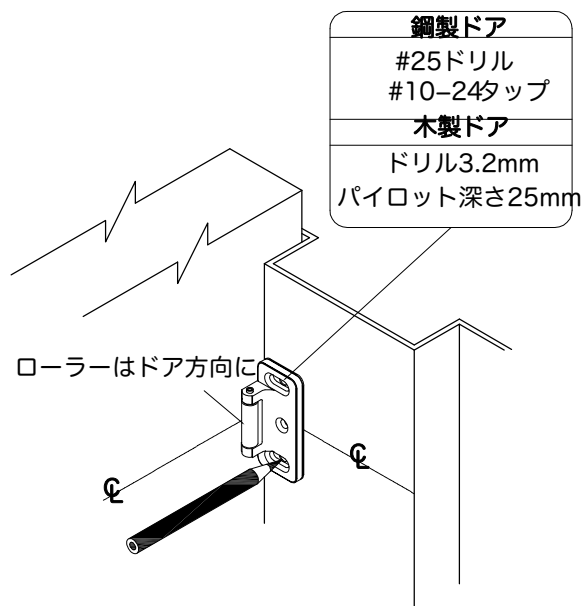


1 デバイス平行線と ストライク中心線を描く



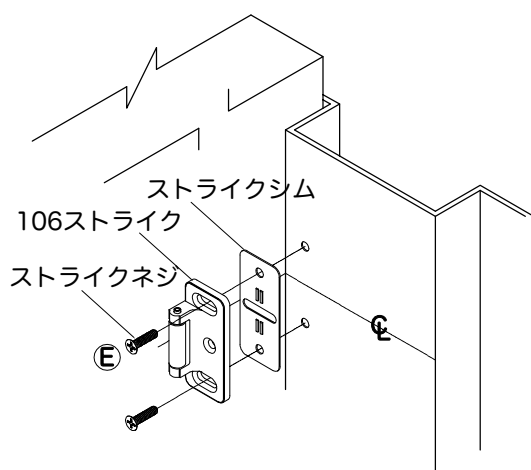
ドアを閉じ、図のように床仕上げ面又は沓ズリからドアの内側面に水平のセンターラインを印し、錠前側の戸当たり部に1006mmを表示します（トリムを使用する場合はドアの外側面まで水平センターラインを継続します）。

2 水平中心線に沿って配置し、 2つのスライド穴の位置に印を描く



ストライクをテンプレートとして使用し、戸当たりとドアの内側の面に配置します。ストライク上の水平中心線は戸当たりとドア上の水平中心線と一致します。必要に応じてセンターとドリル/タップ穴を印しをつけます。

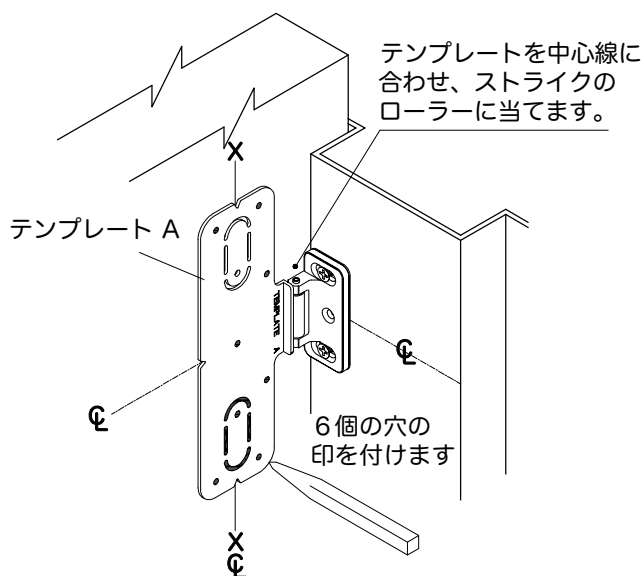
3 ストライクとシムの取り付け



2つの穴を準備し、各スロットにネジを取り付けます。

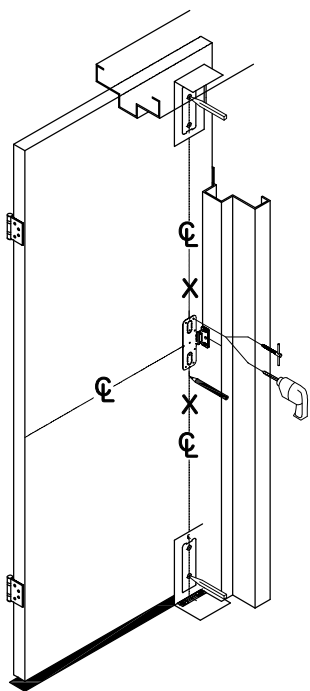
108ストライクについては、この説明書の表紙を参照してください。

4 テンプレートをセンターラインの 上でストライクに当て印をドアに描く



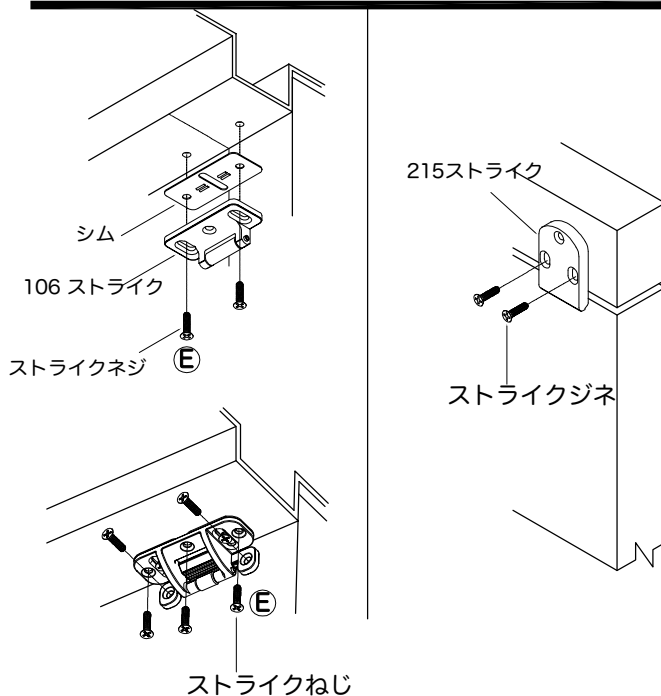
テンプレート上の中心線がドア上の中心線と並ぶように、テンプレートに「**TEMPLATE A**」（トリムを使う場合はテンプレート使いません）をドアにテープでとめます。センターに印を付け、テンプレートに示されているように必要な穴をドリル/タップします。

5 中心線の上にトップとボトムのテンプレートを整列させ、次に印を付け、ドア加工の準備



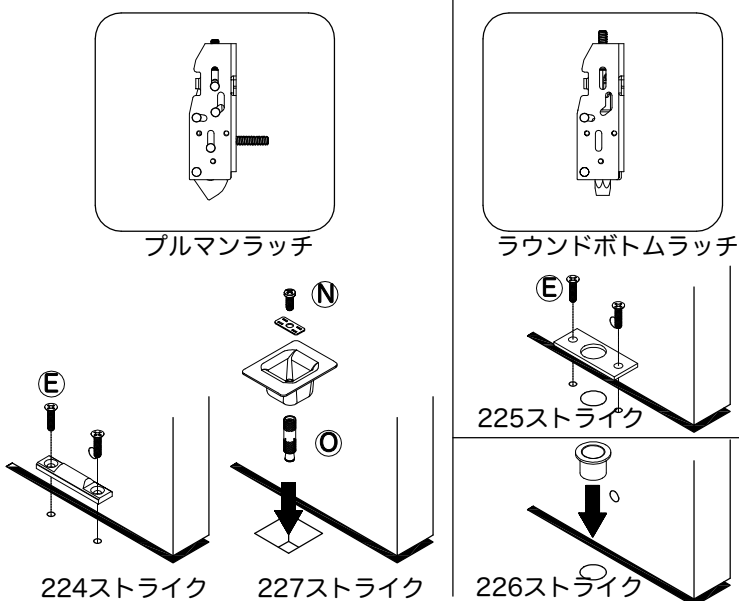
1. ストライクのテンプレートを折り畳んでドア内側の戸当りに配置します。テンプレート上の垂直中心線は、戸当りとドアの垂直中心線と並行です。
2. 戸当りとドア面にテープでテンプレートを貼り付けます。
3. テンプレートに示されているように、センターとドリル/タップ穴を印しします。ドリル/タップ、および切り欠き情報については、4ページの「ドアの準備表」を参照してください。

6 トップストライクとシムを取り付け



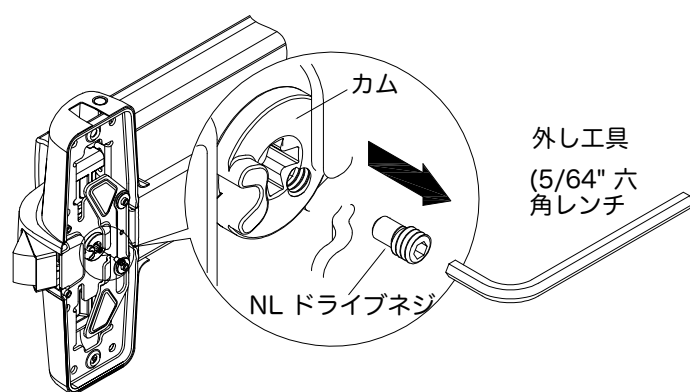
調整が完了したら、ストライクの穴に3番のねじで締めます。

7 ボトムストライクを取り付け



1. ネジと入れるために床に印を付け、ストライクとネジの種類に応じて準備します。ボルトと床の間に隙間をあけます。
2. 沓ズリの場合：提供されたストライクとネジの種類に応じて、穴をあけます。

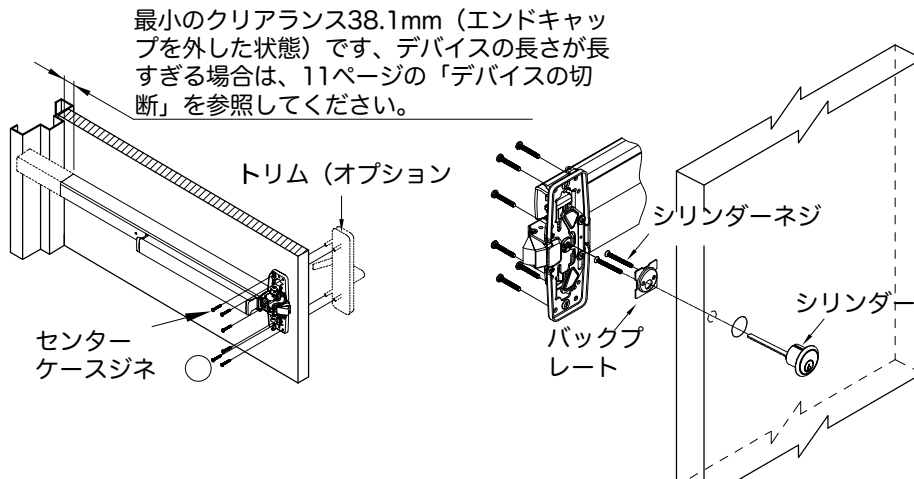
8 NLデバイスネジの使用するか決定



NLドライバネジは工場出荷時にカムの背面に取り付けられています。センターケースの場合、NLドライブネジがセンターの後ろにあるとき外筒はナイトラッチとしてのみ機能します。

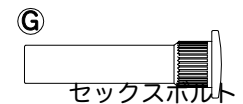
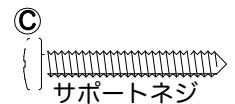
注: 1. プルプレート用またはナイトラッチシリンダー付きエスクションの場合をNLドライブネジを取り外さないでください。

9 トリムを使用する場合、センターケースをドアに取り付け

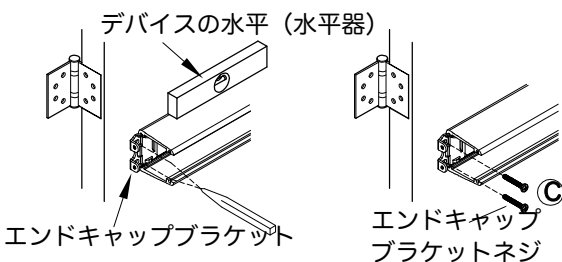


1. トリム付きのデバイス - 「トリム取り付け手順」を参照してください。
2. シリンダーのみ - 図示のシリンダーバックプレートを付けシリンダーを取り付けます。テールピースがドアの内側の面から12.7mm伸びていることを確認します。テールピースをセンターケースのカムに挿入し、6個のセンターケースネジでドアに取り付けます。
3. 退出専用 - センターケースをセンターケースのネジ6個でドアに取り付けます。

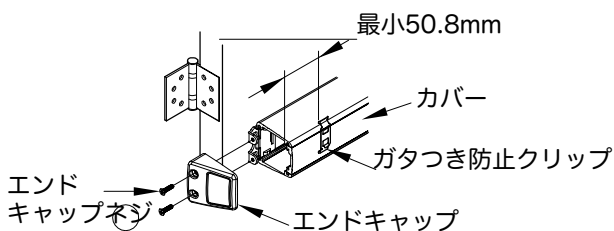
防火戸用デバイスの場合： ドアの製造業者が別の取り付け方をしない限り、補強のないコンポジット（木材、プラスチックおよびスチール被覆）、木材コア、鋼製ドアおよび軽量鋼製ドアには、2本のセックスボルトとサポートネジが必要です。スチール製での補強を施した防火扉には鋼製ドア用ネジを使用します。



10 取り付けブラケットとエンドキャップの取り付け



1. カバープレートを取り外し、エンドキャップブラケットをプッシュバーアセンブリにメカニカルケースに挿入します。水平を出しブラケットねじのための2つの穴を印を付けます。エンドキャップブラケットのネジをドアに固定します。



2. カバープレートを挿入し、ガタつき防止クリップを所定の位置にスライドさせ（端部より50.8mm以上）、エンドキャップに2本のエンドキャップネジで取り付けます。

11 ラッチとロッドの取り付け

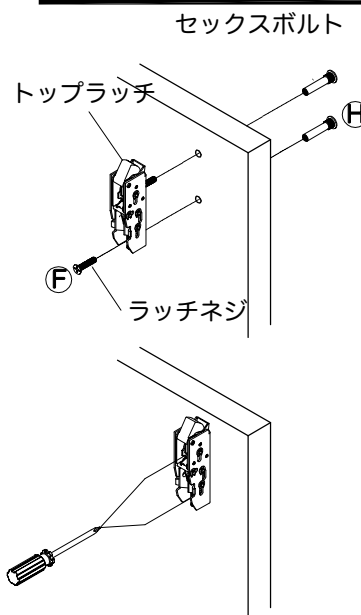


図 1

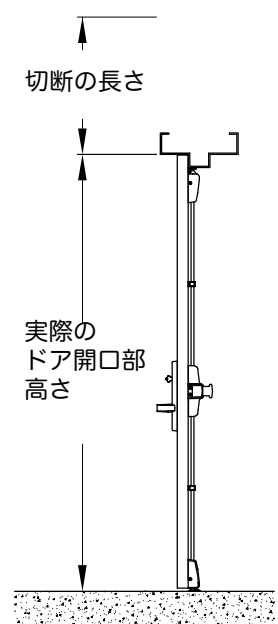
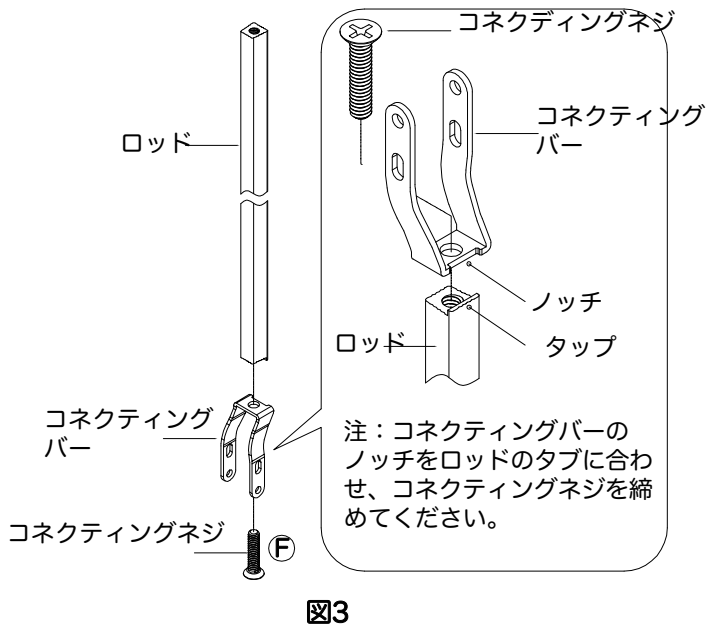


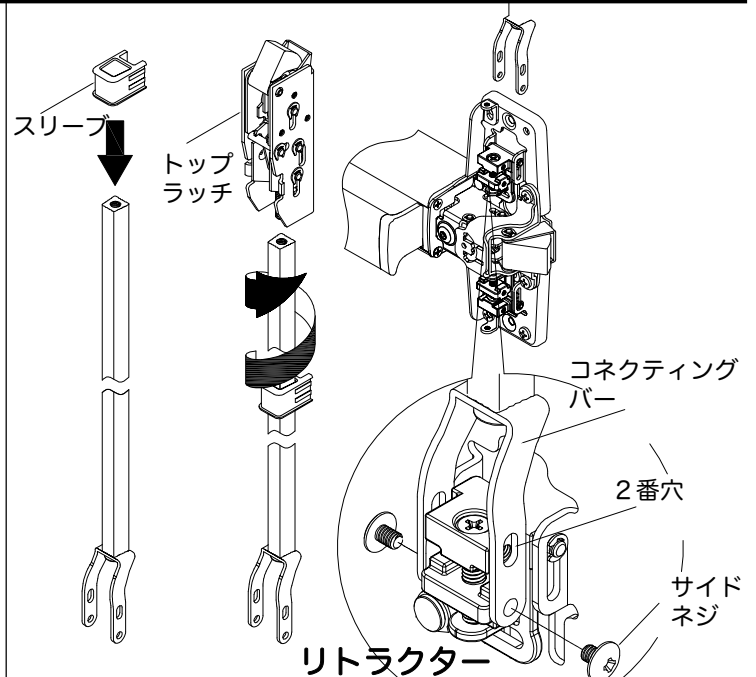
図 2

1. 2本のネジ（セックスボルト）で上部ラッチを取り付けます。デバイスが拘束されことなくラッチされるようにストライクを調整します。図1を参照
2. 図2に示すように、ロッドの長さを決定します。必要であれば、ロッドの端を切ってタップします。10ページの「トップロッドの切断 / トップロッドの繋ぎ延長」を参照してください。

11 トップラッチとロッドの取り付け (続き)

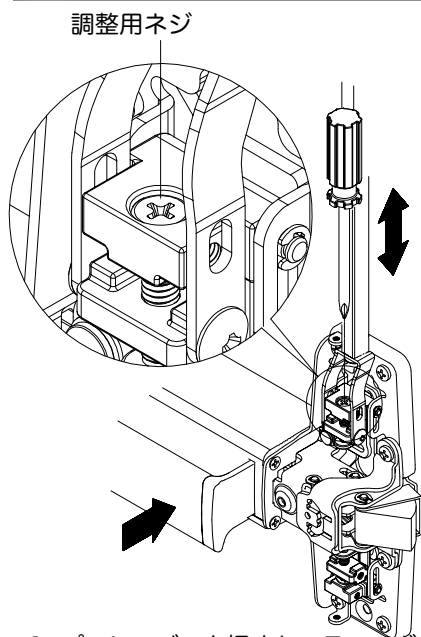


3. コネクティングバーの丸穴にコネクティングネジを通し、上部ロッドにネジ込み、締めます。図3を参照

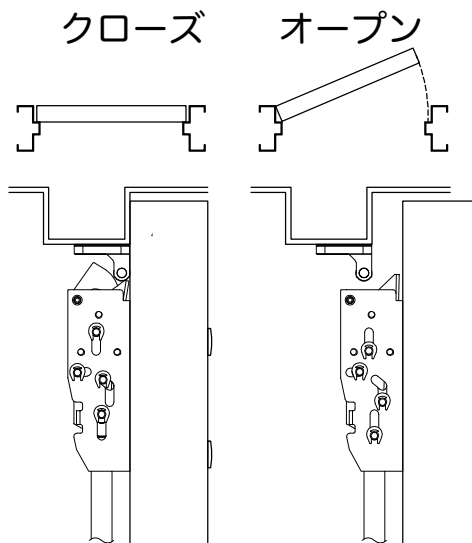


4. ロッドにスリーブを入れ組み立てます。コネクティングバーの1番の穴がリトラクターの1番の穴と整列するまで、上部バーを上部のラッチにねじ込みます、その後サイドネジを締めます。

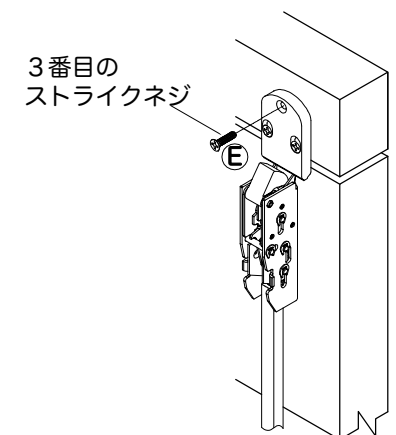
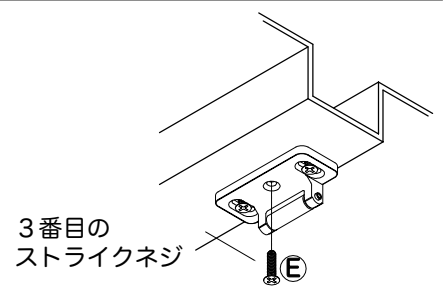
12 ホールドバック&デッドロックの確認 最終ページに詳細説明があります



1. プッシュバーを押すと、ラッチボルトは引き込まれ、ドアが開きます。ラッチボルトは引っ込んだままになり、デバイスはホルバックの保持状態になります。ホールドバック になっていない場合は、ドライバでリトラクター上部のネジを調整してください。

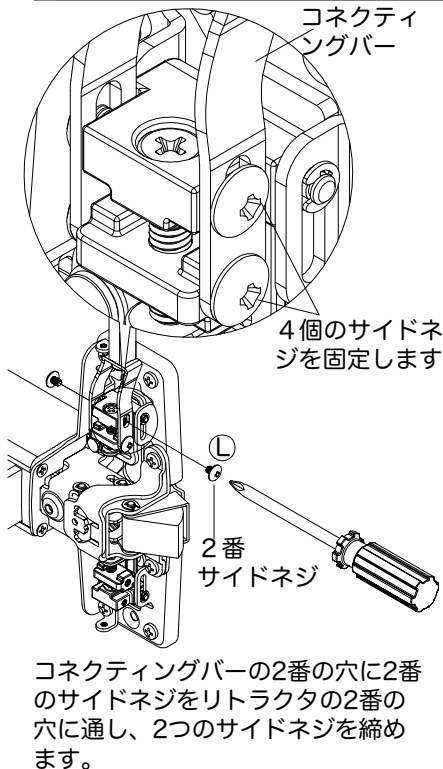


2. 完全に伸びたラッチボルトはデッドロック状態にあります。デッドロックラッチボルトをラッチハウジングに押し込むことはできません。デッドロックができない場合は、ネジを緩めてストライク位置を調整してください。

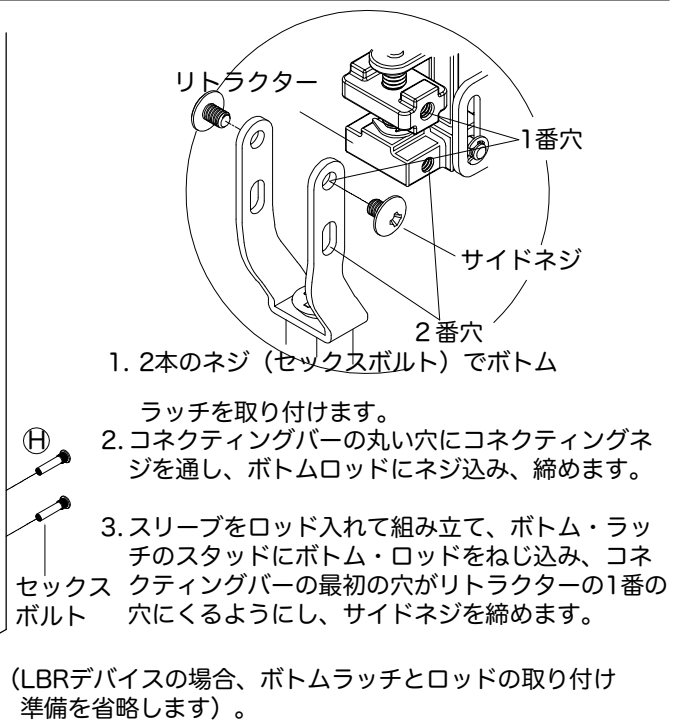
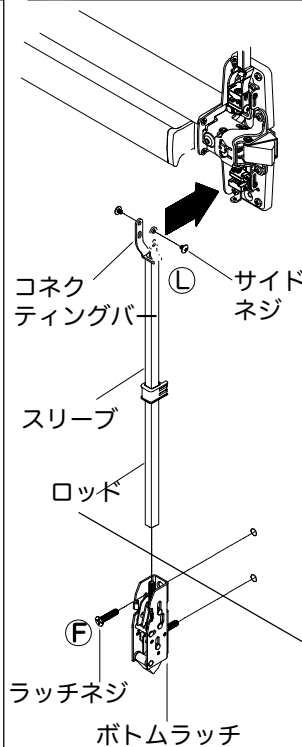


3. 調整が完了したら、ストライクの穴に3番目のねじを締めこみます。

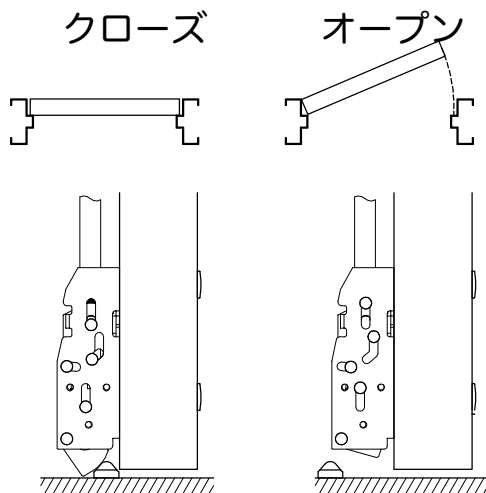
13 サイドネジ2本固定



14 ボトムラッチとロッドの取り付け 最終ページに詳細説明があります



15 ドアを開けたままボトムロッドを調整します (トップラッチは引き込まれます)。

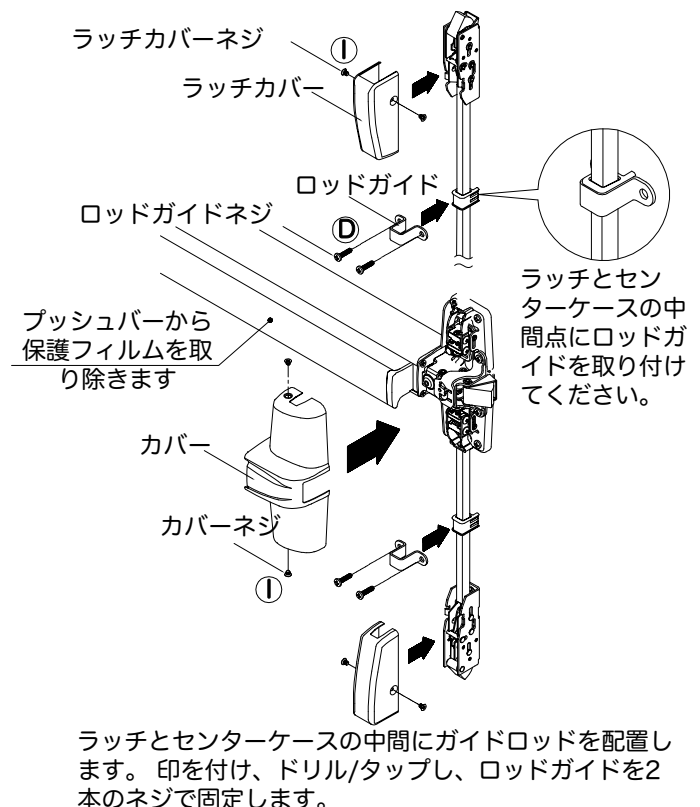


1. プッシュバーを押して、デバイスをホールドバック保持にします。ボトムラッチボルトはボトムストライクをクリアし、ドライバーでリトラクターを調節します、必要に応じてロッドを再調整します。

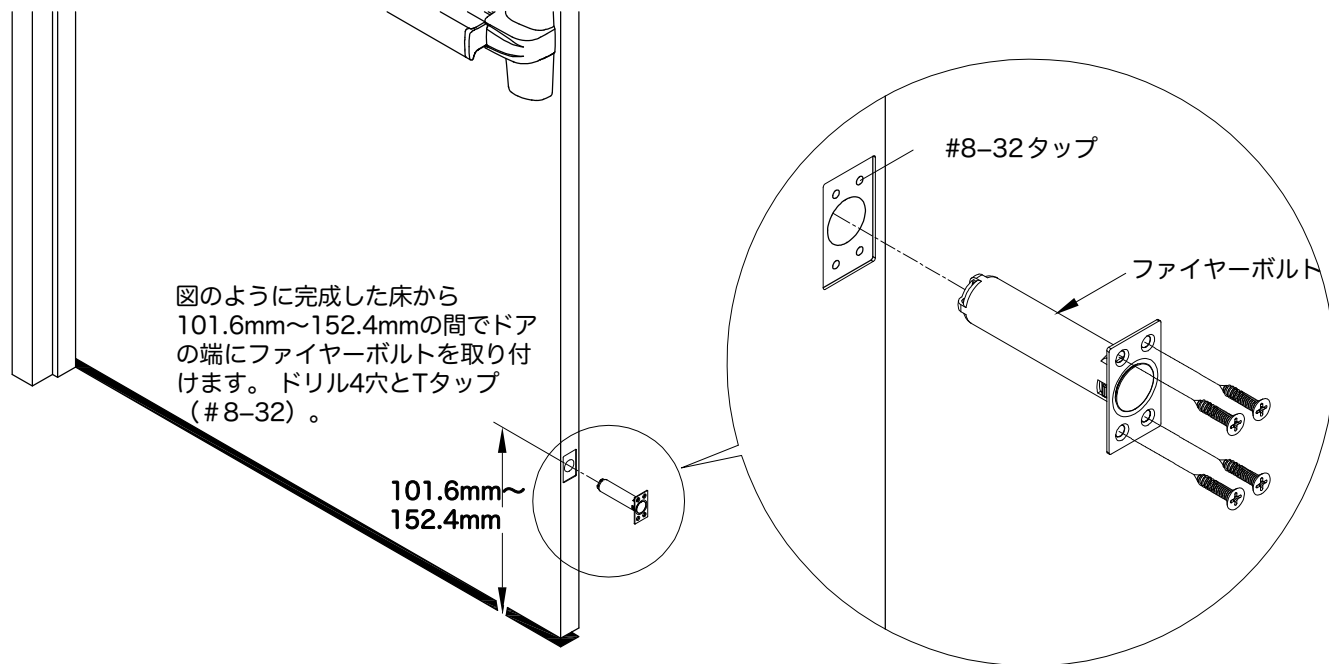
2. 調整が完了したら、2つのサイドネジを固定します。

ドアを数回開いたり閉たりし、ドアが閉じているときにデッドロックが正しく掛かるか確認してください。

16 ロッドガイドとカバーを 専用ネジで取り付け



ファイアーボルトの取付



注：ボトムロッド（LBR）を使用しないアプリケーションの場合、ファイアーボルトを使用する必要があります。

トップロッドの切断 / トップロッドの繋ぎ延長

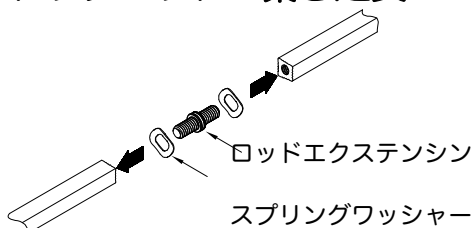
トップロッドの切断

ロッドの平らな側から
切断します

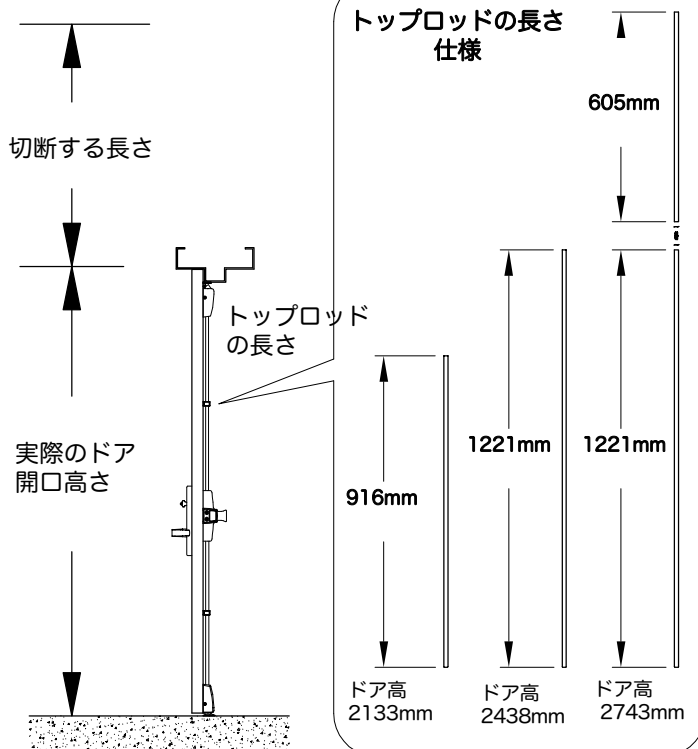
ステップ1：ロッドの平らな面を確認し、ロッドを切
断する量を測定する。
注：2,133mmより短いドアの場合、ロッドの切断が
必要です。

Step 2: タップ#1/4-20; 深さ25mm

トップロッドの繋ぎ延長

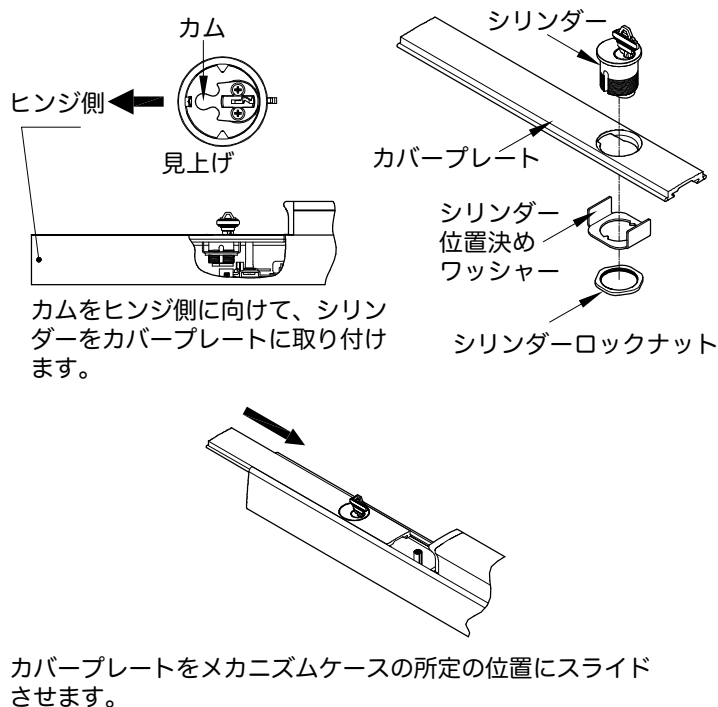


2本のロッドをしっかりと接続するためにロッド延長部
とスプリングワッシャーを取り付けます。

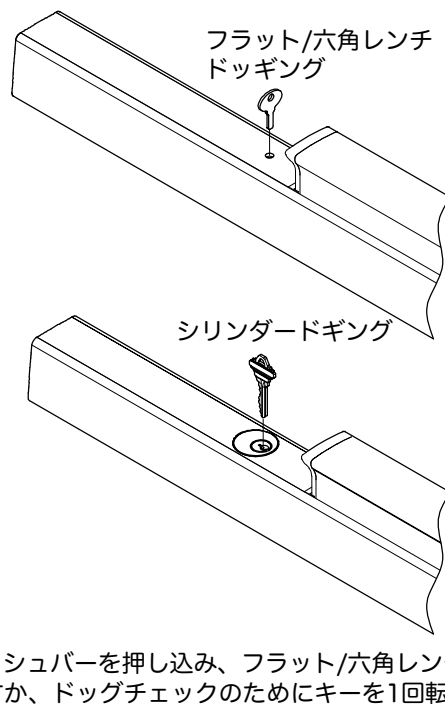


オプション・ドッキング

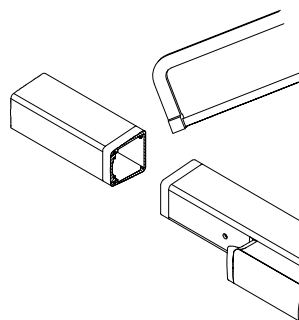
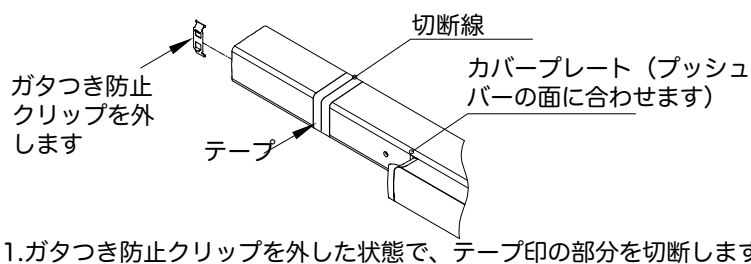
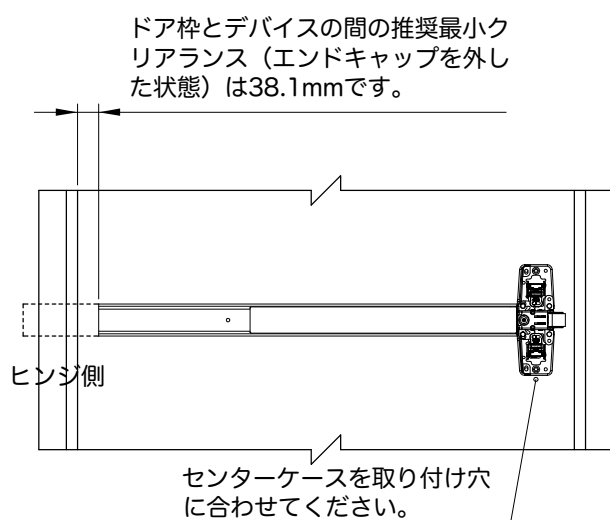
シリンダー・ドッキング



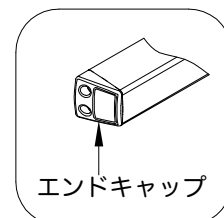
ドッキングのチェック



デバイスのカット (必要に応じて)

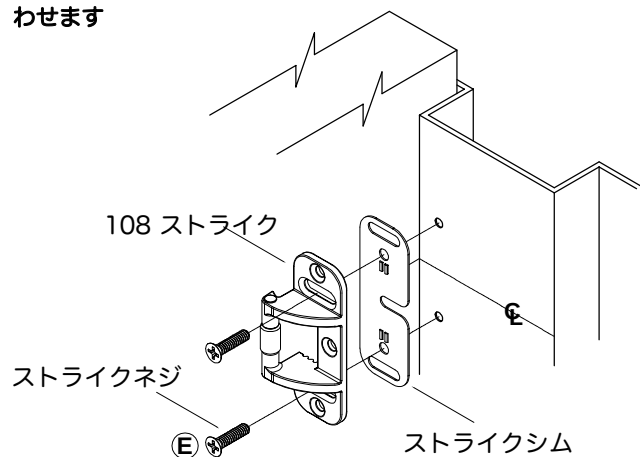
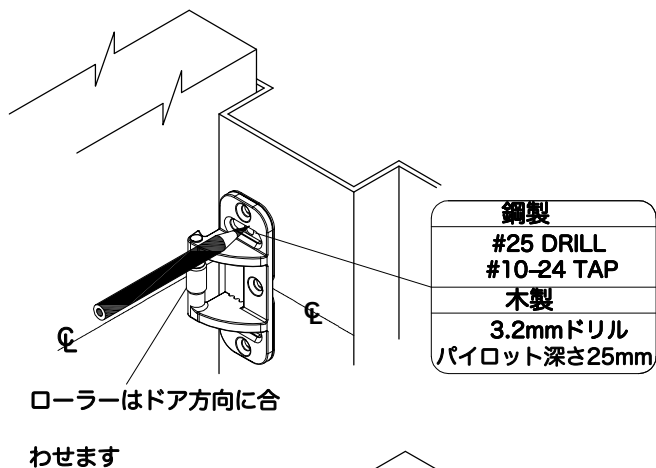


2. デバイスを切断します。
注：エンドキャップを正しく取り付ける為に、デバイスを直角に切断する必要があります。

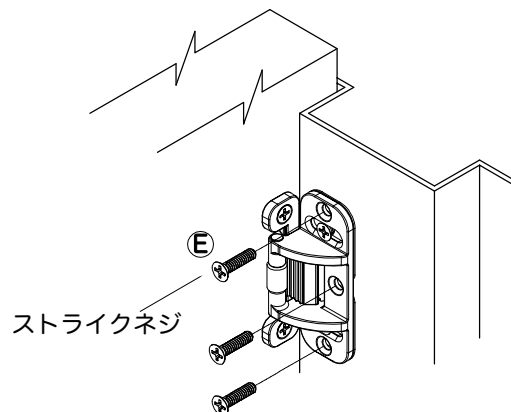
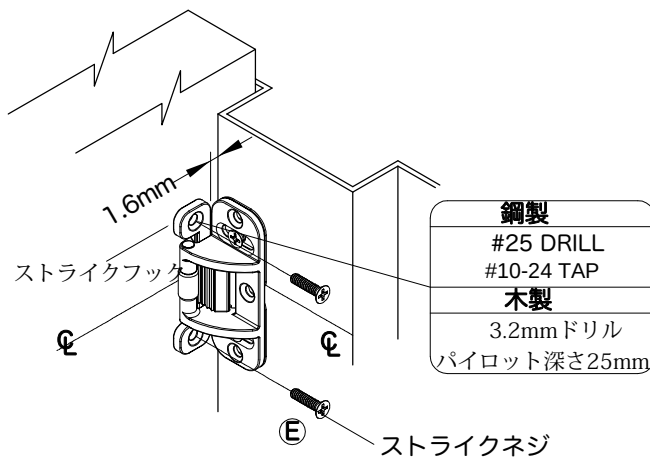


108 ストライクの取付

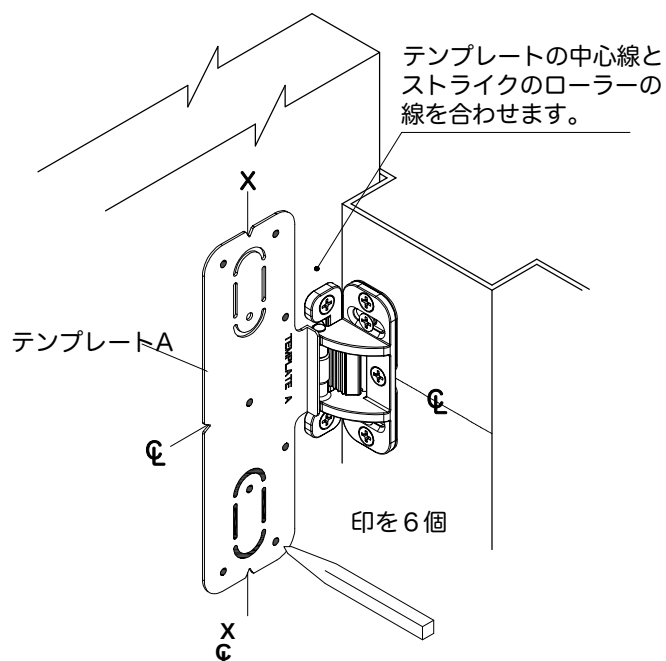
1 ストライクスロットを使い2個のネジで取り付けます。



2 ストライクフックと追加のストライク固定ネジを取り付けます。

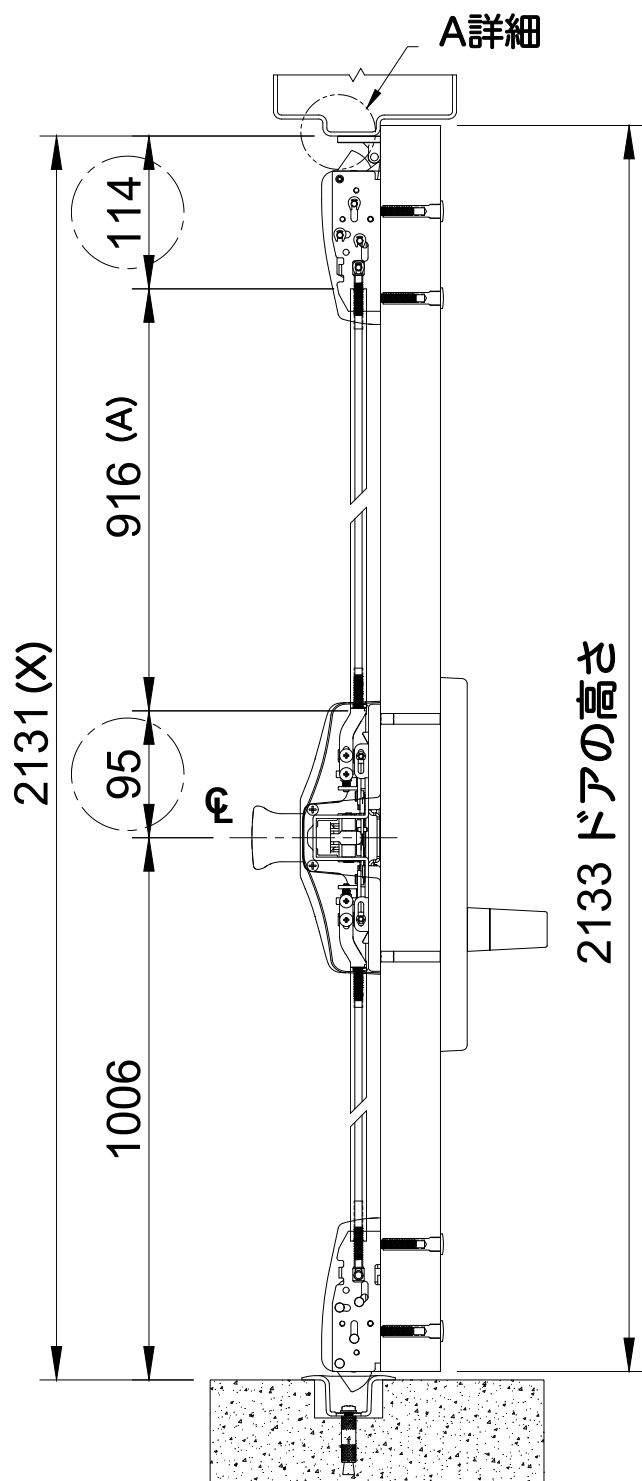


3 テンプレートの使用 下図参照

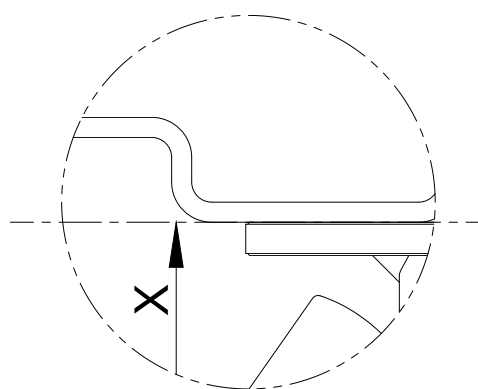


Klacci パニックバー 1500

SVR トップロッドの長さ = $2131 - 1006 - (95 + 114) = 916\text{mm}$



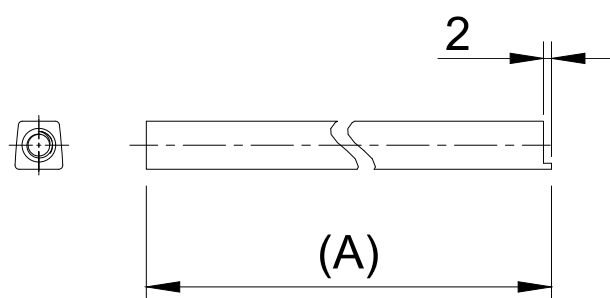
(X)=床面から枠とあたり部下面



A詳細
SCALE 5:1

ドアの高さ	トップロッドの長さ(A)
2,133mm	916
2,438mm	1221
3,048mm	1830(1221+609)

(X)=床面から枠とあたり部下面



計算式 : (A) = $2,131 - 1,006 - 95 - 114$

$A = X - 1,215 (1,006 + 95 + 114)$

Klacci 1500シリーズの調整方法

- 1) ドアにパニックバーを設置した後、トップロッドとボトムロッドのリトラクター（ラッチを引っ込めるための機構）を調整していきます。
- 2) リトラクターを中央に移動させ、可動範囲の中央に合わせます。
（この作業をトップロッドとボトムロッドの両方で行います）
- 3) トップロッドをトップラッチに接続し、ロッドを回しながらラッチのネジに取り付けます。
- 4) ロッドのコネクティングバーをリトラクターに接続し、ネジの穴を正確に合わせてください
- 5) コネクティング・バーのコネクティング・ネジを丸穴の方を二つだけリトラクターの両側に固定します。
- 6) プッシュバーを押し込んだ状態にしてください。
- 7) プッシュバーを押しながらドライバーで調整ネジを回し、トップラッチから「カチッ」という音が聞こえ、ラッチが完全に引き込まれるまでねじを回します。
- 8) カチッという音と共にデッドロックのラッチピースが上に突き出ます
- 9) 次に、ボトムロッドとボトムラッチを取り付けた後、トップラッチと同じようにボトムラッチを調整します。
- 10) プッシュバーを押し込んだ状態にしてください。
- 11) プッシュバーを押し込んだ状態で、ドライバーで調整ネジを回しボトムラッチがカチッという音が聞こえるまで又、完全に引き込まれるまでねじを回します。
- 12) ボトムラッチとトップラッチの機能を確認するためプッシュバーを押します。
- 13) トップラッチが引き込まれているかを確認します、そしてボトムラッチも完全に引き込まれているかを確認します。
- 14) 次に、ラッチを押して解除します。デッドロック機能が正常に動作しているかを確認します。
- 15) プッシュバーを押して、トップロッドとボトムロッドが、きつすぎないことが重要です。適度な動きの余裕があることを確認します。
- 16) 4本のネジをすべて固定をして、トップロッドリトラクターとボトムロッドリトラクターの取り付けは完了です。